参考

１　ＰＣＢとは

ＰＣＢとはPoly Chlorinated Biphenyl（ポリ塩化ビフェニル）の略称で、人工的に作られた、 主に油状の化学物質です。ＰＣＢの特徴として、水に溶けにくく、沸点が高い、熱で分解しにくい、不燃性、電気絶縁性が高いなど、化学的にも安定な性質を有することから、電気機器の絶縁油、熱交換器の熱媒体、ノンカーボン紙など様々な用途で利用されていましたが、現在は製造・輸入ともに禁止されています。

２　ＰＣＢ使用機器

ＰＣＢが使用された代表的な電気機器等には、変圧器（トランス）やコンデンサー、安定器があります。変圧器とは電圧を変える装置であり、コンデンサーとは電気を一時的に蓄える、電圧を調整する、位相を変化させる、といった効果を持つ装置です。

ＰＣＢが含まれている変圧器やコンデンサーは、古い工場やビル等で使用されており、安定器は古い工場や学校等の蛍光灯等に使用されていました。なお、工場や学校などの施設に使用されていた蛍光灯が対象で、一般家庭の蛍光灯にＰＣＢを使用したものはありません。

変圧器（トランス）　　コンデンサー　　　　安定器

※受電設備内の機器を確認する場合は、感電のおそれがありますので、電気主任技術者に御相談ください。

３　ＰＣＢの毒性

ＰＣＢが大きく取りあげられる契機となった事件として、昭和 43 年に発生したカネミ油症事件があります。カネミ油症は、昭和 43 年 10 月に、西日本を中心に、広域にわたって発生した、米ぬか油による食中毒事件で

す。症状は、吹出物、色素沈着、目やになどの皮膚症状のほか、全身倦怠感、しびれ感、食欲不振など多様です。

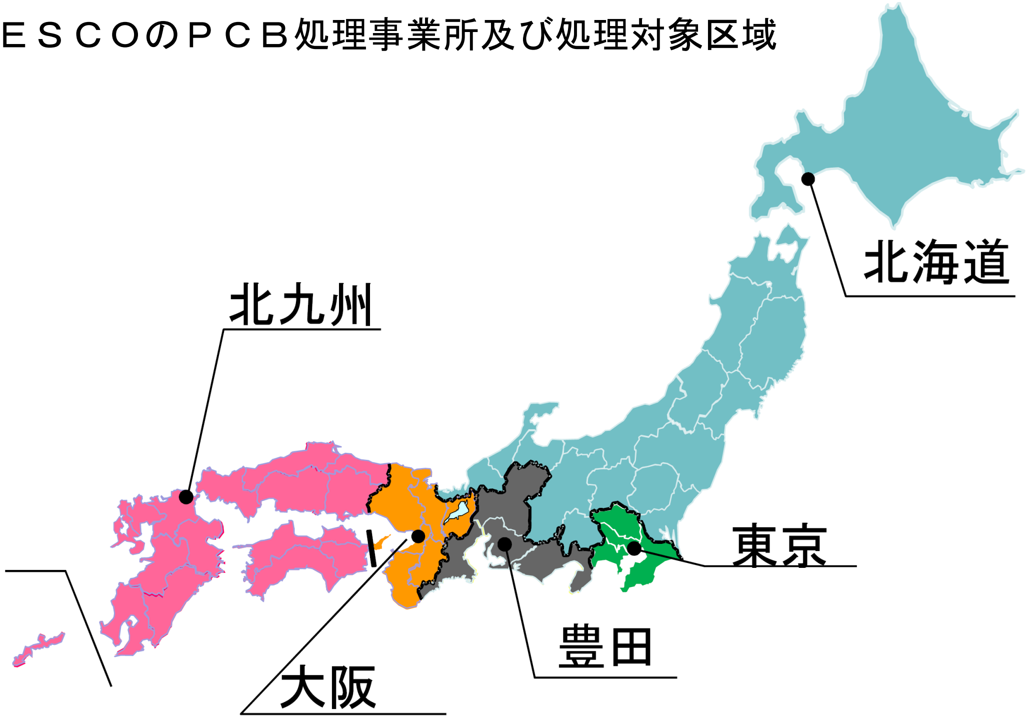
４　高濃度ＰＣＢ廃棄物の処理

高濃度ＰＣＢ廃棄物は、政府が全額出資している中間貯蔵・環境安全事業株式会社（ＪＥＳＣＯ）が全国５箇所のＰＣＢ処理事業所において、処理対象区域を割り当てて進めています。東海４県の高濃度ＰＣＢ廃棄物のうち、変圧器・コンデンサー等は豊田で、安定器及び汚染物等は北九州で処理しています。（次ページ参照）

５　計画的処理完了期限と処分期間

ＰＣＢ処理事業所ごとに計画的処理完了期限が定められており、計画的処理完了期限内に確実にＰＣＢの処理を完了するため、ＰＣＢ廃棄物保管事業者等がＪＥＳＣＯへＰＣＢ廃棄物の処分を委託する期限として処分期間が定められています。

ＪＥＳＣＯのＰＣＢ処理事業所及び処理対象区域



変圧器・コンデンサー等の計画的処理完了期限及び処分期間

処理事業エリア	処理する事業所	処分期間	計画的処理完了期限
北九州	北九州	2018年3月31日まで	2019年3月31日
大阪	大阪	2021年3月31日まで	2022年3月31日
豊田	豊田	2022年3月31日まで （2019年7月5日で残り1,000日）	2023年3月31日
東京	東京		
北海道	北海道		

安定器及び汚染物等の計画的処理完了期限及び処分期間

処理事業エリア	処理する事業所	処分期間	計画的処理完了期限
北九州	北九州	2021年3月31日まで （2019年7月5日で残り635日）	2022年3月31日
大阪			
豊田			
東京	北海道	2023年3月31日まで	2024年3月31日
北海道			

汚染物…ＰＣＢが付着した布（ウエス）など